

徳島駅北口設置に係る車両基地移設検討事業の中間報告について

○徳島駅北側エリアへのアクセス手法の検討案

検討案	【A案】 車両基地の移設＋鉄道の高架化＋自由通路（グランドレベル）の設置（連続立体交差事業採択時(H18)の現行計画）	
イメージ		
アクセス性	・ 鉄道の高架化と一体となっていく「花畑踏切」をはじめとする踏切の除却、「国道192号」の拡幅等により、交通円滑化が促進 ・ グランドレベル(1階)で北側・南側エリアを接続することが可能 ・ 上下移動がなく、スムーズな歩行者動線を確保 ・ 回遊性の向上に寄与	
にぎわい創出	「にぎわい交流軸※1」の形成に寄与するとともに、車両基地跡・鉄道高架下空間の活用により、駅北側エリアを含め駅周辺における人流増加・商業活動の活性化が期待	
検討案	【B1案】 車両基地の移設＋自由通路（跨線橋形式・2階）の設置	【B2案】 自由通路（跨線橋形式・2階）の設置
イメージ		
アクセス性	・ 駅付近の「花畑踏切」及び「出来島踏切」が除却されない ・ 上下移動を伴うため、南北移動の負荷が大きい	・ 駅付近の「花畑踏切」及び「出来島踏切」が除却されない ・ 自由通路の位置が限定的となる ・ 上下移動を伴うため、南北移動の負荷が大きい
にぎわい創出	車両基地跡の活用により、駅北側エリアにおける人流増加・商業活動の活性化が期待	新たな活用が創出されないため、にぎわい交流軸の形成や人流増加・商業活動の活性化は困難

※1 徳島市により令和元年6月に策定された「徳島駅周辺まちづくり計画」において、にぎわい交流軸（徳島中央公園～徳島駅前広場～眉山）の形成をまちづくりのコンセプトに掲げている
 ※2 上記検討案については、今後、関係者との調整が必要である

徳島駅北口設置に係る車両基地移設検討事業の中間報告について

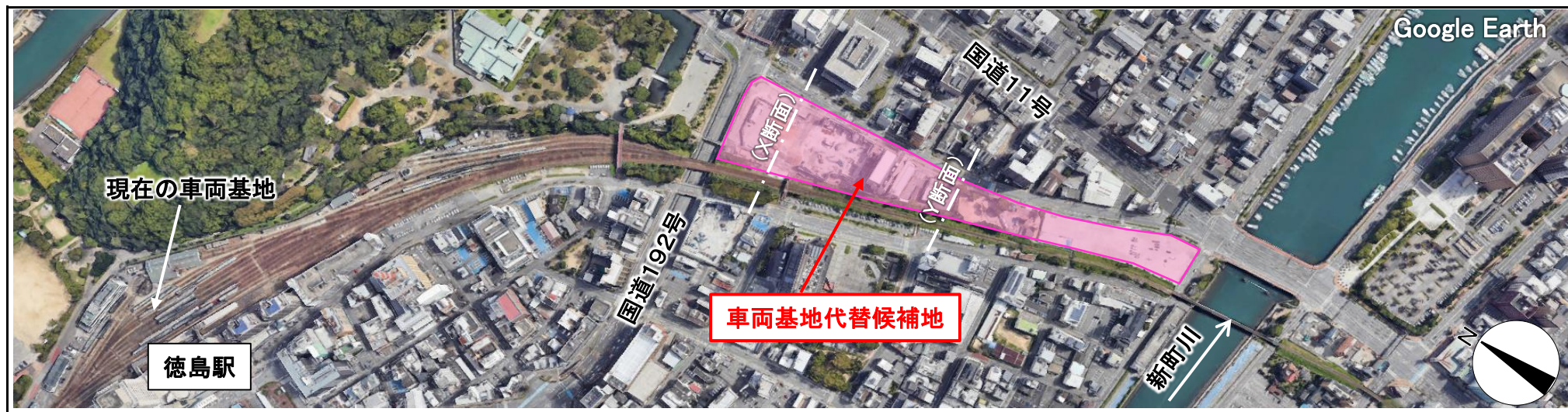
○車両基地移設の代替案

【現行計画】

- 徳島市南部の牟岐線沿いへ車両基地を移設（H20 JR高徳線・牟岐線鉄道高架事業技術検討会）

【現在の検討状況】

- 現行計画の代替案として、「**車両基地代替候補地**」へ施設配置が可能であることを確認（現在及び鉄道高架後に接続可能な配置）
※ 現行計画と同様に、高架駅部にも車両留置が必要。今後、高架工事の施工方法、運用面や事務所配置なども含めた精査により変更はありうる。



- 鉄道高架後に車両が基地へ入出庫できるようにするため、基地高さは地盤面の高さより高くなると想定されることから、基地構造として考えられる次の2つの構造を検討案に設定

基地構造	① 高架橋構造	② 盛土構造
断面イメージ	(X断面) (Y断面) (高架下空間) 地盤面	(X断面) (Y断面) (盛土) 地盤面 ※盛土高により地盤改良が必要となる可能性あり

※ 上記は現時点での配置案イメージであり、今後、関係者との調整や追加検討を行うため、確定したものではない

【今後の検討項目】

- 「車両基地高さ」及び「基地構造(①高架橋構造、②盛土構造)」についての検討
- 「車両基地の運用面を踏まえた配置」についての検討
- 「概算事業費の試算」及び「工期」についての検討